

静岡市は、JR東静岡駅北口の市有地に多目的アリーナをつくることをめざしています。静岡市がめざすアリーナとは、どのような施設なのか、どのように事業を進めるのかを、「静岡市アリーナ基本計画」としてまとめました。



アリーナでのイベント（SAGAアリーナ）

めざすアリーナ

最高峰のプロスポーツの試合や大きなコンサートなど、これまでの市内の施設（中央体育館・市民文化会館など）では開催できなかった、さまざまな大型イベントを開催できる多目的アリーナの実現をめざします。

地域のためのアリーナ

・東静岡の文化・スポーツの拠点になるとともに、地域のまちづくりや防災にも役立えます。

集うアリーナ

・市民、市外や県外から人が集まり、新たな交流や経済効果を生みます。

選ばれるアリーナ

・いろいろな演出ができて、イベント会場として使いやすい、主催者や観客から選ばれるアリーナとします。

観るアリーナ

・バスケットボールやバレーボールなど、最高峰のプロスポーツの試合や、大きなエンタメイベントを実現します。

持続可能なアリーナ

・民間のアイデアを活かした運営やサービスにより、将来にわたり魅力があり、収益を生み出すアリーナとします。



アリーナのイメージ（沖縄アリーナ）



©VELFEX SHIZUOKA

バスケットボール



©toray arrows shizuoka

バレーボール



コンサート



光と音の華やかな演出

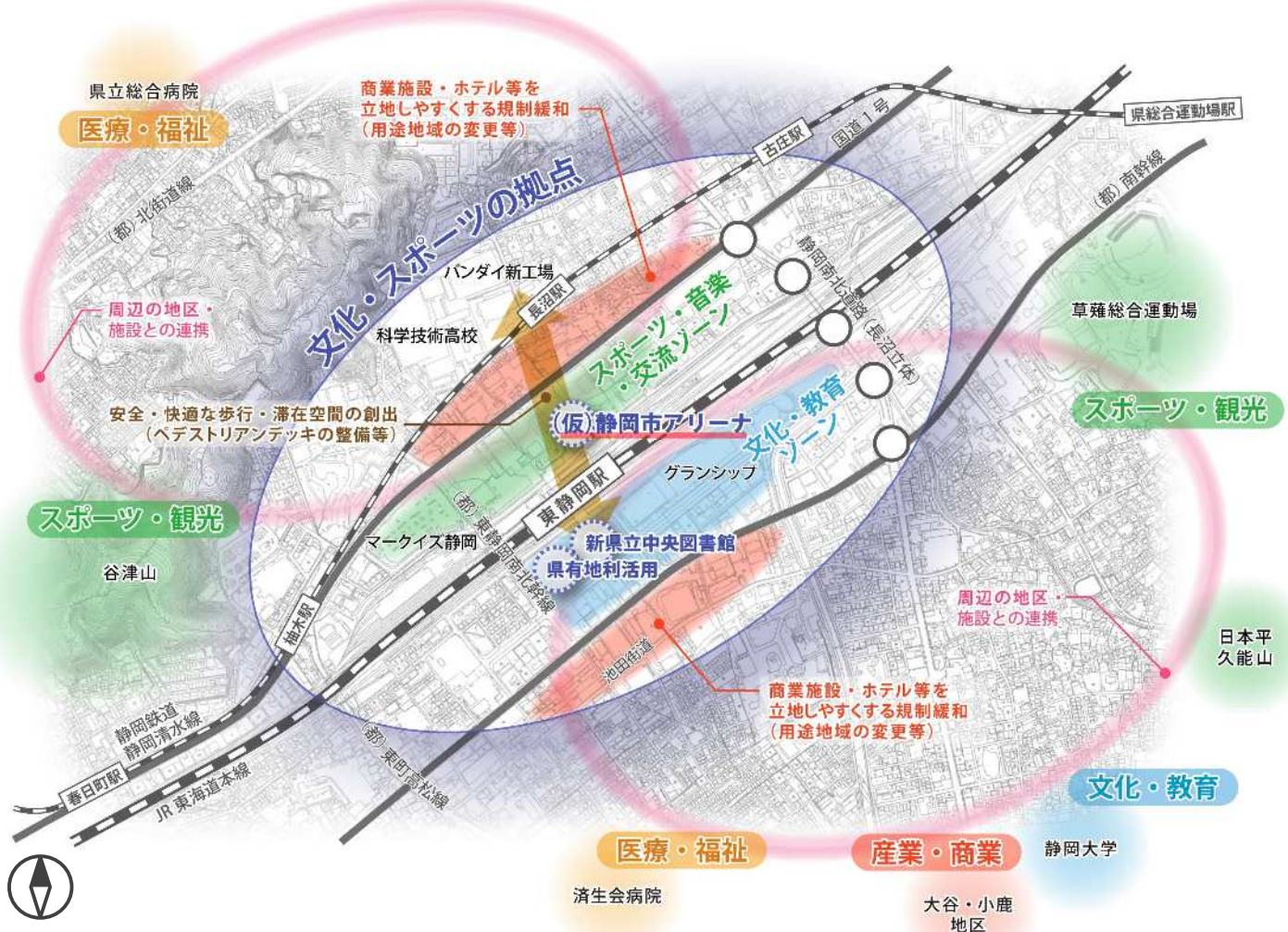
東静岡のまちづくりとアリーナ

人口減少や地球温暖化といった時代の大きな変化を認識し、SDGs未来都市として、これからの20年、30年、その先の50年までを視野に入れながら、**未来につながる持続可能なまちづくり**を進めています。

「新たな文化・スポーツの拠点づくり」と「快適で住みやすい住環境づくり」

まちづくりの将来イメージ

- ・JR東静岡駅北口の**アリーナ**、南口の**新県立中央図書館**（2027年度完成予定）や、既存のグランシップ等の**施設（ハード）**と、まちで提供・実施される**サービス・活動（ソフト）**が連携することで、まちに**新しい価値**（最先端の文化・スポーツ・エンタメの体験・体感など）がもたらされます。
- ・この新しい価値を上手に活用し、JR東静岡駅周辺に商業施設・ホテル等を含めた**人が集まる魅力的な都市空間**を形成するとともに、ペDESTリアンデッキの整備や次世代モビリティの導入等により、**誰もが移動しやすい・住みやすいまちづくり**を目指していきます。
- ・このようなまちを実現していくために、**面的に広がりがある範囲でのまちづくりを、市民、地域社会、企業等と共に進めていきます。**



長崎スタジアムシティ（提供：長崎スタジアムシティ）



エディオンピースウイング広島

他都市では、**アリーナやスタジアムと、観る/食べる/遊ぶ/体験する/ショッピング/泊まる**などが集まったまちづくりが進められています。東静岡では、駅直結のアリーナを核とした**魅力的なまちづくり**を進めます。

JR東静岡駅や静鉄長沼駅とアリーナをつなぐ**ペDESTリアンデッキ**等を整備することで、まちを訪れる人々・暮らす人々が**安全・快適に歩行・滞在**することができます。

アリーナのイメージ

これまでの市内の施設（中央体育館・市民文化会館など）では、席数や設備の関係から、最高峰のプロスポーツの試合や大きな音楽イベントは開催できませんでした。これらの大型イベントが開催できるよう、アリーナの席数は、**プロスポーツの試合や、大きな音楽イベント（ツアーなど）に対応可能な8,000席以上**とします。

また、**アリーナとJR東静岡駅、静鉄長沼駅をペDESTリアンデッキ（高架の歩行者空間）**でつなぐことで、歩行者と車の動きを分けて、市民や来場者が安全に移動できるルートを設定します。

JR東静岡駅や静鉄長沼駅とアリーナをつなぐペDESTリアンデッキ



SAGAアリーナ

アリーナの外観イメージ



沖縄アリーナ（沖縄市HPより）



SAGAアリーナ（佐賀県HPより）

自由に通行や滞留ができる
2階デッキ



2階デッキ・エントランス（SAGAアリーナ）

科学技術高校

静岡鉄道

静鉄
長沼駅

※ペDESTリアンデッキは、この図では1例として、今の道路に沿ったルートとしていますが、どこにつくるかは決まっていません。

国道1号

マークイズ静岡

(仮) 静岡市アリーナ

※JR東静岡駅に近いことから、敷地内の駐車場はイベント関係者や障害者の方などが使う最低限の台数とし、必要な場合は別の場所に臨時駐車場を設けます。

東静岡大橋

JR東海道本線

JR東静岡駅

新県立
中央図書館
予定地

グランシップ

日常的に買い物や飲食が
楽しめる場所



SAGAサンライズパーク

オフィスやホテルなど、
アリーナ以外の施設



アリーナとホテル（横浜BUNTAI）

新県立中央図書館 内観パース
(新県立中央図書館整備基本設計(概要版)より)

アリーナができると・・・

静岡市は、深刻な人口減少や少子化といった課題を解決するため、**将来を担うこどもや若者が、「このまちの未来は明るい」と夢を抱き、希望が持てるまちづくり**を進めています。アリーナにより、以下のような**新たなまちづくり、文化の発信、安心・安全、雇用所得の創出**の経済社会効果が期待できます。

新たなまちづくり

・東静岡の新たなまちづくりの中心として、まちの魅力を高めるだけでなく、市民が誇れる静岡市のシンボルとなります。

新たなまちづくりにより、民間の投資が生まれるほか、東静岡が住みやすく、文化もスポーツも楽しめるエリアとなることで、定住・交流人口の増加が期待できます。



北海道ボールパークFヒレッジ（北広島市HPより）

文化の発信

・トップレベルのプロスポーツやエンターテインメントを静岡市にもたらし、これまでにないワクワク・ドキドキの感動を市民に提供する拠点となります。

市内外に最先端の文化を発信し、交流する拠点として、様々なヒト・サービス・情報が結びつきます。



沖縄アリーナ

安心・安全

・大きな災害のときは、広い屋内スペースを活かした支援物資の受入れ、仕分けのほか、避難所として避難者の受入れを担う防災拠点となります。

非常用電源や水などのライフラインを備えることで、地域に安心・安全をもたらします。

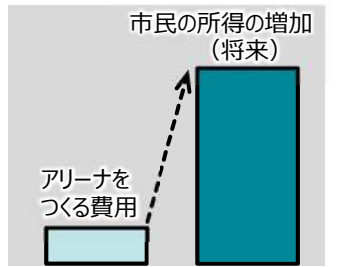


石川県産業展示館（内閣府HPより）

雇用所得の創出

・アリーナをつくる費用を約300億円とした場合、最初の事業者が建設・運営する33年間で、市民の所得（雇用所得）が増える効果は約1,455億円と見込まれます。

・アリーナをつくる費用と比べて、より大きな効果が期待されます。



防災施設としてのアリーナ

アリーナには、大型トラックがそのまま屋内（メインアリーナ）に入れる搬入口やコンクリート製の床、VIPルームなどの個室、セントラルキッチンを設けます。地震や風水害などの災害のときは、これらの設備が**緊急物資集積所**や**避難所**となります。

例えば、乳幼児同伴の方や要配慮者が個室を利用できるようにします。そのほか、市民や避難者への電気（スマホ等の充電）や水の供給、セントラルキッチンなどを活用した飲食の提供ができるようにします。



大型トラックが通れる搬入口
（SAGAアリーナ）



VIPルーム・プレミアムラウンジ（観戦だけでなく飲食も楽しめる個室）
（SAGAアリーナ）



セントラルキッチン
（沖縄アリーナ）

アリーナ事業の進めかた

アリーナをつくる費用は、2024年10月時点で**約300億円**と考えています。

アリーナは公共施設として、市と民間事業者が費用を分担して建設し、完成後は市が所有し、事業者が運営します（公設民営）。市は、運営する権利（運営権）を事業者に有償（運営権対価）で譲渡し、この運営権対価を建設費用にあてることで、建設費用の市の負担を減らします。アリーナの運営権を得た事業者は、自由な発想でアリーナを運営し、魅力あるサービスを提供し、多くの人が楽しめる場所とするとともに、収益を生み出します。

この方式をとることにより、市の建設費用の負担が減るとともに、市はアリーナの運営費を負担する必要はなくなります。

アリーナにかかる費用のイメージ

【アリーナをつくる（設計・建設）】

約300億円（現時点での見込み）

市が用意（市の負担のほか、国の補助金・交付金、寄付金など）

できるだけ少なく

いろいろな財源を使い、なるべく市の負担を少なくする。

【アリーナを運営する】

アリーナ運営の収入（施設利用料、飲食・物販収入、広告収入など）

できるだけ多く

収益

アリーナ運営の支出（維持管理・運営費）

運営権対価を充当

収益の一部

（運営権対価）

民間事業

これからのスケジュール（予定）

・アリーナの投資効果を高めるためには、アリーナの建設を決定した場合、できるだけ早くアリーナをオープンすることが重要です。

・もっとも早く進んだ場合として、次のスケジュールをめざしています。

- 【2024年度】：基本計画の決定
- 【2025～2026年度】：事業者の募集・決定
- 【2026～2029年度】：設計・建設工事
- 【2030年春】：アリーナのオープン